

「川辺町個別施設管理計画（案）」の意見結果について

個別施設管理計画（町長部局）策定に向け意見の募集を行いました。結果は以下のとおりです。ご意見をいただいた皆様、誠にありがとうございました。

1. 意見募集期間 令和2年2月28日（金）～令和2年3月23日（月）
2. ご意見の提出状況 意見提出者数 2名

提出されたご意見と町の考え方は以下のとおりです。

No.	項	項目	ご意見	対応（町の考え方）
1	P8	公共施設等の施設類型ごとの管理に関する基本方針	小規模施設については他施設との統廃合等を検討とあるが、具体案があれば提示を願う。	現在、統廃合等の検討は深まっていますが、具体的な検討が進み次第、計画に反映していきます。
2	P30～	老朽化状態の実態～長寿命化改修について	P40 改修周期の設定に「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を基本とする計画であるが、消防詰所、水防倉庫が学校施設同等規模の建築物であると考えなのか。そのためには、鉄筋コンクリート造への改修が必要となり、改修後に周期設定に準ずるものとしたい。	各消防詰所（鉄骨造）については、目標使用年数を鉄筋コンクリート造と同様の80年として計画しました。ご質問のとおり当該施設を改修する時期が到来した場合、使用者数、使用頻度等を総合的に判断した上で、改修（改築）規模に応じて検討が必要であると考えています。また、水防倉庫については、老朽化が著しいため、用途廃止に向けた検討を行います。
3	P45	計画期間内の実施計画	上記（No.2）の改修が困難となる場合は、R6以降に計画されている各施設の長寿命化改修の早期実施が必要と考える。	長寿命化改修の周期は築40年を目安に設定しています。今後、施設の状態や使用者の変動、町全体の財政面等を総合的に判断した上で、計画時期を検討する必要があると考えています。

No.	項	項目	ご意見	対応（町の考え方）
4	P40	目標使用年数、改修周期の設定	<p>P40にRC造の法定耐用年数が47年であるため、長寿命化改修により、建物の目標使用年数を80年と設定するとあるが、消防団詰所はS造である。S造の法定耐用年数は34年であり、上川辺消防団詰所は築35年と耐用年数を超過している。したがって2024年度実施予定の改修計画を少しでも早めるべきであると考えます。</p>	<p>個別施設管理計画（案）（以下、計画）P40記載のとおりRC造の法定耐用年数は物理的にはこれより長いことから、計画ではRC造及びS造等については目標使用年数を80年として計画しました。また、長寿命化改修の周期は築40年を目安に設定しています。上川辺消防団詰所は計画P45の「計画期間内の実施計画」とおり築40年目に当たる2024年度（R6年度）に長寿命化改修を実施する計画です。なお、改修時期を早めるべきとの意見に関しましては、2024年度（R6年度）までの間に大規模改修計画が無いこと、2027年度（R9年度）に庁舎の長寿命化改修が控えていること等を考慮し、財政平準化の観点から計画時期を検討する必要があると考えています。</p>
5	—	—	<p>上川辺消防団詰所を使用する第1分団1部は定員が分団長を含め30人と町内で一番大きな部であるが、延床面積が69㎡とそれほど広くない、全員が詰所内に入ると圧迫感を感じることもある。そのため、改修するだけでなく、増築若しくは新築ということも視野に入れて定員数に見合った規模の防災拠点となる詰所が必要であると考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、当該施設は災害時等の防災拠点となることから、団員が快適に使用できる施設への改修は必要であると考えます。しかしながら、計画P10の本町の将来人口は減少傾向にあり、団員数についてもその影響が及ぶと想定しております。増築、新築等の具体的な計画が決定していませんが、今後の人口変動、詰所の統廃合計画の具体化等によって、当該施設の施工規模を決定したいと考えています。</p>

6	P37	公共施設等の再編に向けた基本的な考え方	P37 には消防詰所を他施設との統廃合を検討するとあるが、現段階ではどんな案があるのか提示していただきたい。	現在、統廃合等の検討は深まっていますが、具体的な検討が進み次第、計画に反映していきます。
---	-----	---------------------	--------------------------------------------------------	----------------------------------------------